National
松下電工

一般家庭用

窓ふき

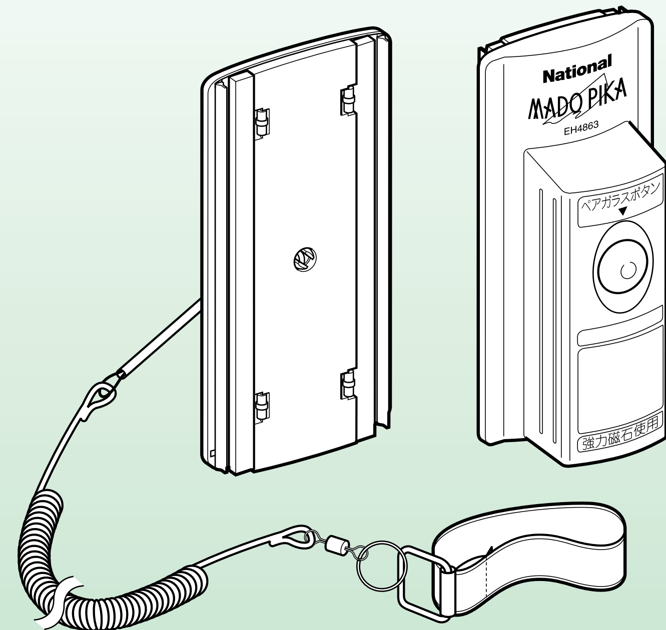
保管用

ナショナル マドピカ

ペアガラス対応

EH4863

取扱説明書



● お買い上げありがとうございました。
ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

松下電工株式会社　リビング・ライフ事業部
〒522-8520　滋賀県彦根市岡町33　TEL（0749）26-7890

S No.2

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、**「危険」「警告」「注意」**に区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠**危険**：	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容
⚠**警告**：	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠**注意**：	人が傷害を負う危険及び物的損害の発生が想定される内容

絵表示の例



⃠このような絵表示は、してはいけない**「禁止」**内容です。
（左図の場合は「分解禁止」が描かれています）



●このような絵表示は、必ず実行していただく**「強制」**内容です。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠危険



● **ペースメーカー等、電気医療器具を装着されている方は、体に近づけない、使用しない**
事故や体調異常のおそれがあります

⚠警告



● **2階以上の窓を拭くときには、下に人がいないことを必ず確認する**
守らないと部品落下によるケガのおそれがあります

● **使用する際は必ず落下防止バンドをはめる**
守らないと部品落下によるケガのおそれがあります



● **19mm厚以上のガラスに使用しない**
磁力不足のため部品落下によるケガのおそれがあります

● **傷・ヒビのあるガラスに使用しない**
ガラス破損やガラス破損によるケガのおそれがあります

● **落下防止ヒモを持って室外クリーナー部を引っ張らない**
室外クリーナー部が勢いよくとび、顔や体に当たるおそれがあります

⚠注意


禁止

- **磁気の影響を受けやすいもの(磁気カード・磁気記録物・テレビ・パソコン・時計等)の10cm以内に近づけない**
  他の器具を破損(故障)させる原因となります
- **本体・室外クリーナー部の磁石面に砂鉄やゴミ等が付着したままで使用しない**
  傷など器物破損の原因となります
- **アクリル性のもの(カーポート・水槽等)に使用しない**
  傷など器物破損の原因となります
- **子供の手の届かない所に保管し、使わせない**
  事故や器物破損の原因となります


必ず守る

- **使用後は必ず専用ケースに保管する**
  ※ケース内に本体・室外クリーナー部・落下防止バンド・ヒモ以外は入れない
  ※本体と室外クリーナー部を合わせて保管しないでください
  (本体が故障するおそれがあります)
  守らないと他の器具を破損(故障)させる原因となります
- **取扱説明書をよく読み、正しい使いかたをする**
  ※窓ガラスの掃除以外の用途で使用しない
  ※本体と室外クリーナー部を合わせた状態では、ペアガラスボタンを絶対に押さないでください
  守らないと事故や故障の原因となります

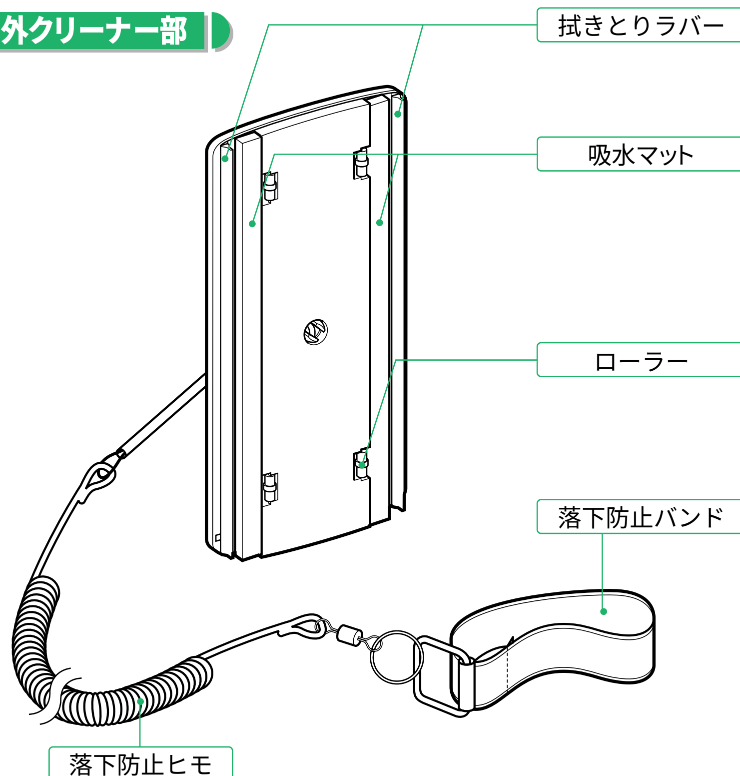

分解禁止

- **改造はしない**
  また修理技術者以外の人は、分解・修理をしない
  事故や器物破損のおそれがあります
  修理はお買い上げの販売店または、
  松下電工お客様ご相談窓口にご相談ください

もくじ

各部のなまえ

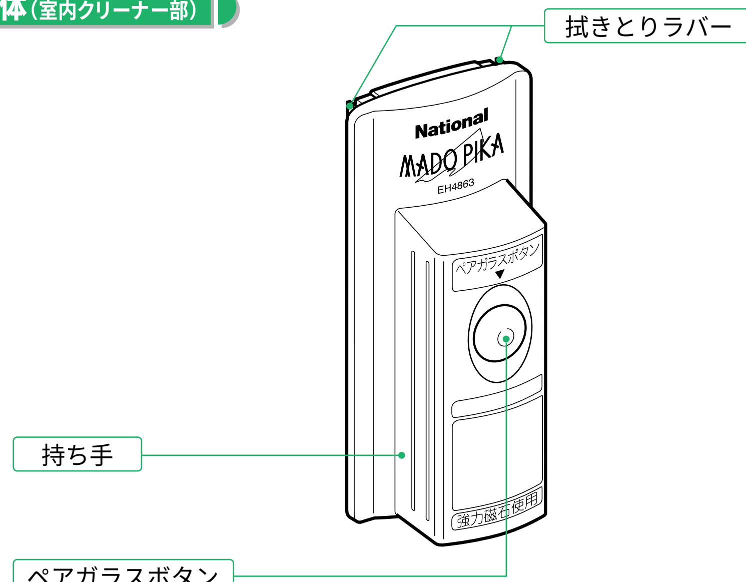
室外クリーナー部



本商品以外に用意するもの

バケツ	乾いた布
スポンジ	液体洗剤
ガラス用スプレー	※バケツに水を入れ液体中性洗剤を５Ｌの水に対し１０㎖程度入れる

本体（室内クリーナー部）

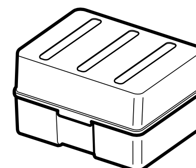


- ペアガラスボタンを押すとガラスへの密着力がアップしてペアガラスなどの厚いガラスにも使用できるようになります。
- 必ずガラスにセットしてから押してください。
  （一度、窓ガラスから外すと自動的にボタンが復帰しますので、再度使用する場合はもう一度ペアガラスボタンを押してください。）

※薄いガラスでの使用時や本体と室外クリーナー部を合わせた状態では絶対に押さないでください。
（故障の原因となります。）

付　属　品

- 専用ケース



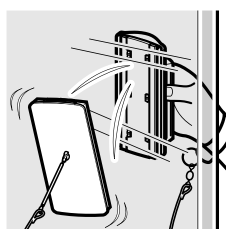
- ガラス厚チェッカー



使用できない窓

■本商品はご家庭のほとんどの窓に対応できますが、
特殊な構造の窓や以下のような窓ガラス
には使用できません。
（磁力の不足による部品落下や傷など器物破損の原因となります。）

19mm厚以上のガラス

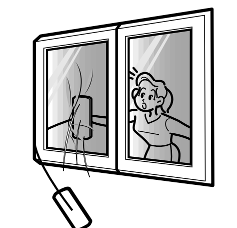
2mm厚以下の極端に薄いガラス



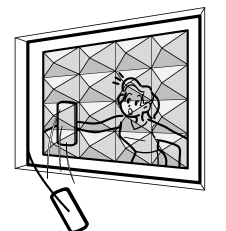

曲面ガラス



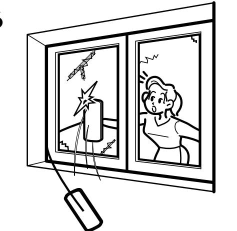

フィルムの貼ってあるガラス

すりガラス等、表面にざらつきや凹凸のあるガラス

傷・ヒビのあるガラス

- 網入・線入ガラスには使用できます。
- 落下防止ヒモは約3mまで伸び、1.5m幅までの窓が拭けます。

ガラスの厚さを測定する

ガラスの厚さが測定できない場合は

※ガラス厚チェッカーでガラスの厚さが測定できない場合は、
ガラスの種類により以下のガラスの厚さを目安にしてください。

窓ガラスの種類が

普通のガラスの場合（1枚ガラス）



3～10mm厚のガラス

ペアガラスの場合（2枚ガラス）



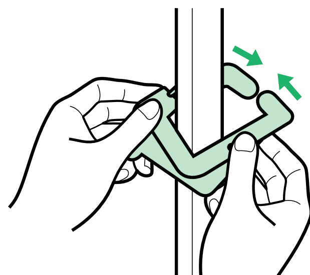
11～18mm厚のガラス

- その他の窓ガラスの場合は窓を拭く（P11参照）の手順に従ってまずはペアガラスボタンを押さずにそのままご使用ください。
  （そのときは必ず室外クリーナーが外れても受け取れるように手を添えた状態でガラスへの密着力を確認してからご使用ください。）
  ガラスへの密着力が弱いと感じたらペアガラスボタンを押してご使用ください。

ガラスの厚さを測定する

●使用する前に付属のガラス厚チェッカーでガラスの厚さを測定してください。（ペアガラスボタンの操作が必要であるかの確認のため）

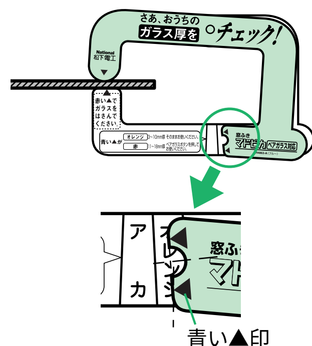
1 ガラス厚チェッカーで窓ガラスをはさむ



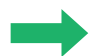
- 表示面を上向きにして使用する
- ガラス厚チェッカーはガラス面に対して垂直になるようにはさんでください。
（斜めの状態では正確なガラスの厚さが測定できません。）

2 はさんだままの状態で ガラス厚チェッカーの目盛りを確認する

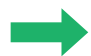
- 青い▲印が示す位置でガラスの厚さを確認する。



3 青い▲の示す位置が



→ 3～10mm厚のガラス



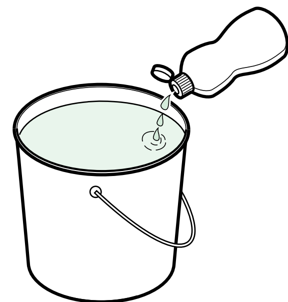
→ 11～18mm厚のガラス

- 青い▲印が示す位置がどちらの色も示さない場合の窓ガラスは使用できません。
（磁力不足による部品落下やガラス破損の原因となります。）

拭く準備をする

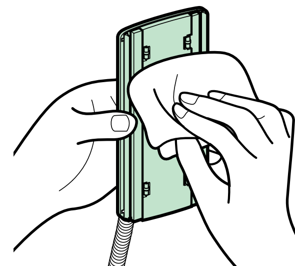
⚠危険	●ペースメーカー等、電気医療器具を装着されている方は、体に近づけない、使用しない 事故や体調異常のおそれがあります

1 バケツに水を入れ 液体中性洗剤を少量入れる（5Lの水に対し10mℓ程度）



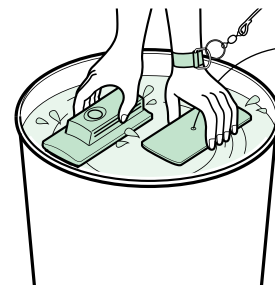
- 洗剤を入れすぎると窓に泡が残りやすくなります。
- 洗剤に記載の使いかたをよくお読みの上、使用してください。

2 窓や拭きとり面に砂やごみ等が付着している場合は 乾いた布等で落とす



- ゴミが付着したまま使用すると窓ガラスに傷をつける原因となります。

3 拭きとり面を水にひたし 吸水マットに水を含ませる



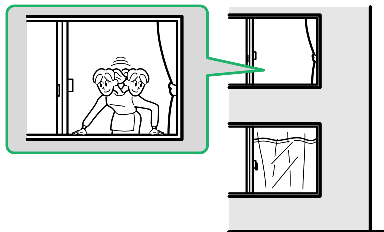
- **水にひたした後、水がたれないように必ず乾いた布などで軽く押さえる。**
- 本体、室外クリーナー部をバケツ内の水につけたまま放置しないでください。
（水が本体内に入り機器の故障の原因になります。）

● 拭きかた

窓を拭く

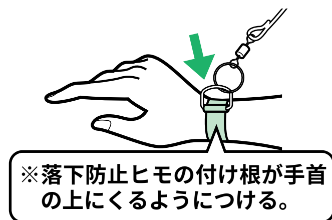
●薄いガラスへの使用時や本体と室外クリーナー部を合わせた状態でペアガラスボタンは絶対に押さないでください。（機器の故障やガラス破損の原因となります。）

1 2階以上の窓を拭くときには 下に人がいないことを必ず確認する



2 手首に必ず 落下防止バンドをつける

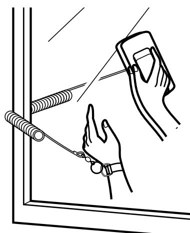
● 左右どちらの手首につけても構いません。



※落下防止ヒモの付け根が手首の上にくるようにつける。

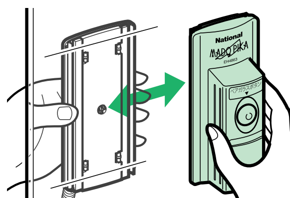
3 窓の外側に 落下防止ヒモを半分以上出す

● 落下防止ヒモに引っ張られて室外クリーナーが落下しないようにするため。
● 落下防止ヒモは約3mまで伸び、1.5m幅までの窓または網戸が拭けます。



4 室外クリーナー部をガラス面につけ 本体をゆっくりとスライドさせて取りつける

● 本体が縦向きになるように取りつける。
● 指をはさまないように注意する。
● 落下しないようにしっかりと持つ。



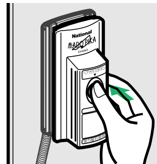
5 測定したガラスの厚さ P8参照 が

3～10mm厚ガラスの場合

ペアガラスボタンを押さずに手順6へ

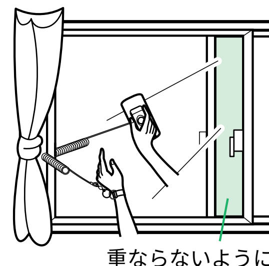
11～18mm厚ガラスの場合

ペアガラスボタンを「ガチャ」と音がするまで押し込む
● 必ずガラスにセットしてから押す。

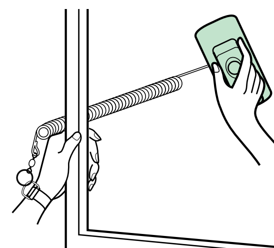


6 窓の サッシが重ならないように閉める

● サッシに落下防止ヒモが引っかかり、室外クリーナー部が落下する場合があります。



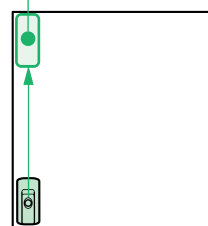
7 窓が 動かないように手で固定する



8 拭き始める位置へ ゆっくりと移動する

● 速く動かしたり、手前にひねったりすると室外クリーナー部が落下します。
● 上から拭き始めたほうが効率的です。

キレイに拭くコツへ P13参照



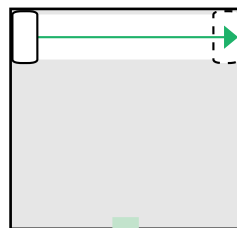
キレイに拭くコツ

拭き始めは、水を含ませて荒拭きする

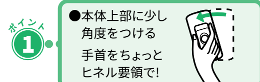
※厚いガラス（11～18mm厚）への使用の場合は窓ガラスにセット後、ペアガラスボタンを押してから操作してください。
（一度、窓ガラスから外すと自動的にボタンが復帰しますので、再度使用する場合はもう一度ペアガラスボタンを押してください。）
※ゆっくり拭いてください。
（速く動かすと室外クリーナー部が落ちやすくなります。）

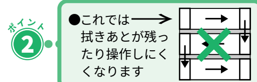
1 上枠に沿って端まで拭く

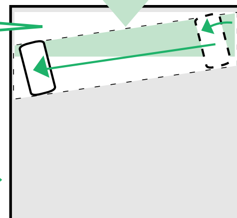




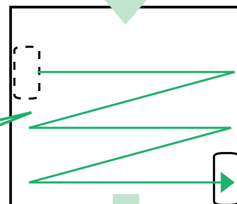
2 そのまま外さないで 角度を変えて 斜めに拭く





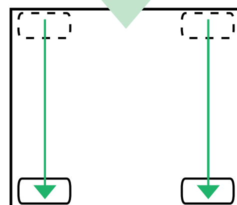


3 1～2を繰り返して 下まで拭く



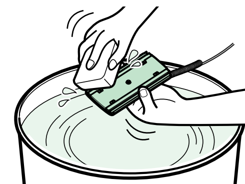
4 縦方向に拭く場合 横にセットし直して 上から下へ拭く

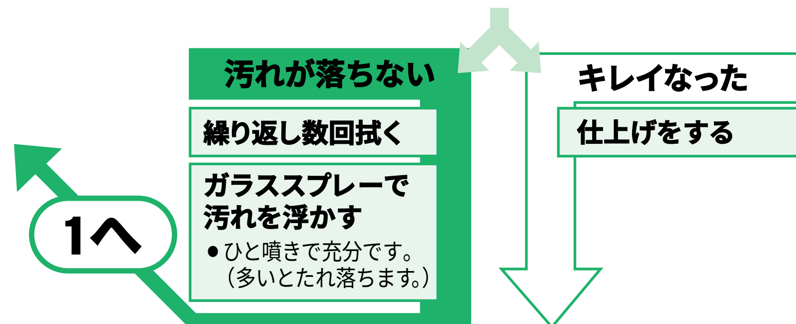
● そのつど外して、両端の汚れを拭く。



5 クリーナー部の すすぎをする

● 汚れていると汚れが拭きとれない原因になります。
● タワシなど固いもので、こすらない。
（拭きとりラバー破損や吸水マットの毛ばだちにより、汚れを拭きとれなくなります。）

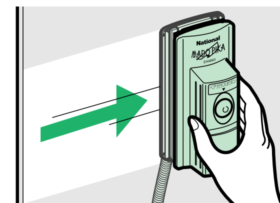




仕上げをする

6 バケツの水を替えて 水拭きをする

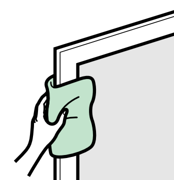
● 窓に残っている洗剤を洗い流すため。
● 洗剤の泡が残る場合は、クリーナー部をすすぎ、数回水拭きをする。



7 吸水マットの 水分をしっかりとって乾拭きをする

①乾いた布を押しつけて水分を吸いとる。
②1～5の手順で拭く。

8 窓ガラスの端についた水分は サッシといっしょに乾拭きする



拭きかた

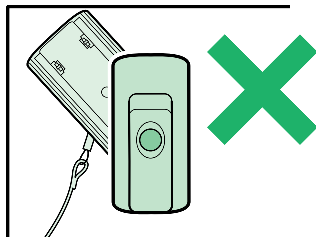
このような場合は

室外クリーナーがズレた場合は

一度外して

再度セットする

- 室外クリーナー部が落下する原因となります。
- 厚いガラス（11～18mm厚）への使用においてペアガラスボタンを押していても一度外すと自動的にボタンが復帰しますので、再度ペアガラスボタンを押してからご使用ください。



- **特に、窓のコーナーやサッシなどに強く当たると、大きくズレ、落下する原因になりますので、再度セットしてください。**

ペアガラスボタンを誤って押した場合

薄いガラスでの使用時や本体と室外クリーナー部を合わせた状態で誤ってペアガラスボタンを押してしまった場合は

室外クリーナー部をしっかりと固定し、本体を回転する要領でとり外す



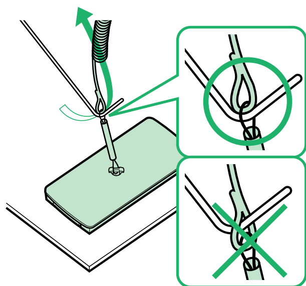
- 無理やり開くと本体の故障の原因になります。

金属物（鉄板）などに付いた場合

落下防止ヒモを

引っ張って外さない

- 室外クリーナー部を手で持って外す。
- 手で外せないときは、棒状のもので落下防止ヒモとワイヤー部の間のすき間に引っかけて外す。
- 落下防止ヒモに引っかけて引っ張らない。断線するおそれがあります。

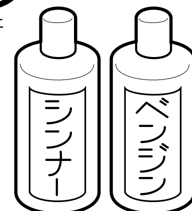


使い終わったら

保管のしかた

1 本体・室外クリーナー部の 汚れを落とす





- **汚れは、石けん水を浸した布で拭きとる**
  - ベンジンやシンナーは使わない。（故障の原因）
  - タワシなど固いもので、こすらない。（拭きとりラバー破損や吸水マットの毛ばだちにより、汚れを拭きとれなくなります。）

2 本体・室外クリーナー部・吸水マットを よく乾かす

- 日陰の風通しのよい場所で乾かす。

3 専用ケースへ収納する

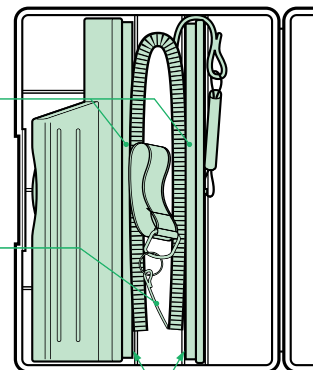
- 必ず専用ケースに入れて保管する。

①拭きとり面を向かい合わせにする

（本体と室外クリーナーは図の位置に入れてください。）

②落下防止ヒモは図のように。

- クリーナー部などには巻きつけない。（故障の原因になります。）
- 本体と室外クリーナーを合わせた状態では、絶対に保管・放置しないでください。（故障の原因になります。）



- 専用ケースを紛失・破損した場合は、販売店でお買い求めください。
  専用ケース　EH4861W7017（補修用性能部品）標準価格350円（税別）

お手入れ

吸水マットの交換と別売品

交換時期の目安

- **吸水マットの汚れが気になるとき**
- **窓の汚れがとれなくなったとき**

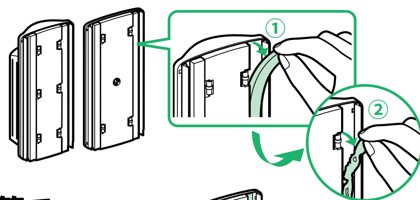
※約120枚の窓を拭きとり後が交換の目安です。
（窓の大きさや汚れ具合などによって交換時期は異なります。）

- 吸水マットは同時に4本とも交換することをおすすめします。

交換のしかた

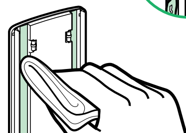
1 吸水マットと粘着テープを はがす

- 4本すべてはがす。



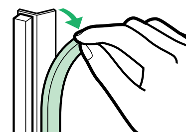
2 貼りつける位置を乾いた布等で きれいに拭く

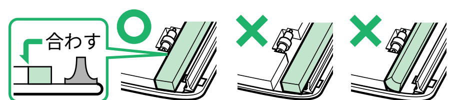
- 特に水分やゴミを拭きとる。



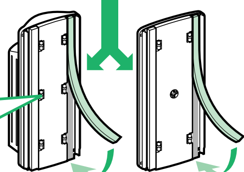
3 交換用吸水マットを しっかりと貼りつける

- 台紙を折り曲げて1本ずつとる。
- 4本すべて貼りつける。





- 拭きとりラバーに当たらないように



別　売　品

- 消耗品（別売品）のお求めは、ナショナル製品販売店、デパートで

- 交換用吸水マット　3セット12枚
EH48611　標準価格600円（税別）

拭きとりラバーが消耗したときは
- 拭きとりラバー　（1コ）
EH4861K0607（補修用性能部品）
標準価格150円（税別）

お知らせ

こんな異常を感じたら

症　状	考えられる原因	処　置
汚れがとれない	水分（洗剤）の不足	吸水マットに水を充分しみこます（P10参照）
	吸水マットが汚れすぎ	洗浄後拭きなおす
操作が重い	ローラー部のゴミづまり	ローラー部のゴミをとり除く
	吸水マットの汚れすぎ	吸水マットの洗浄
	薄いガラス（3～10mm厚）にて誤ってペアガラスボタンを押した	本体と室外クリーナー部を一度外してから再度使用する
ペアガラスボタンが押せないかたい	薄いガラス（3～10mm厚）にセットしている 本体と室外クリーナー部を直接合わせた状態にしている	薄いガラス（3～10mm厚）の場合はペアガラスボタンを押さずに使用する ●本体と室外クリーナー部の距離が近すぎる場合はボタンが押しにくくしてあります
拭きとりラバーがはずれている ローラーがなくなっている 落下防止ヒモ・バンド・ワイヤー部が切れている ペアガラスボタンを押しても磁力が切替わらない		お買い上げの販売店へご相談ください